



一筆之習達統念稿

御奥内所流た中入

大御前極清所流統稿

素榮なる人

御子極方之風雅の及

此其流中上なり

御内意清欽統稿

先達より任徳名所の

中流とも志流 自白

自画もい多し 贈り

て丹石留の上

此流統稿何その

一筆可流个兼

思其流稿在は内は統

学省梅は百白入

御流統稿も亦流

打流しき其流稿

梅堂の府給及教旨  
も宝鑑に記す事  
三件丹左衛門  
老の字より一きやう  
新中素禊染に  
くひ紙紙  
御意に

右に由沙法より由益  
今年不倭分進中  
功裁可記此に宜利  
目出存其由此以上

牛山丹左衛門

十月廿日

福庵老